

街路樹

平成17年6月27日(月)
 いわき市総合教育センター
 いわき市平字堂根町1-4
 0246(22)3705

学力向上に向けて

～いわき市学力実態調査の結果から～

教科等の好き嫌い（好きの割合）



小学校			中学校		
教科等名	いわき市	全国	教科等名	いわき市	全国
体育	84.5	83.9	保健体育	76.1	80.3
図画工作	78.5	76.3	美術	70.0	66.8
総合的な学習	76.9	73.7	音楽	67.8	70.4
家庭	73.9	72.9	学級活動	67.4	70.7
学級活動	73.5	73.1	技術・家庭	66.7	73.8
理科	68.0	69.3	理科	65.8	71.1
道徳	66.9	60.9	英語	63.7	68.5
音楽	66.6	67.3	総合的な学習	63.3	70.5
国語	66.0	63.1	国語	62.3	63.4
社会	65.1	63.5	社会	61.9	66.1
算数	63.0	59.2	道徳	55.5	60.3
			数学	53.9	53.1

教科等の好き嫌いについては、算数・数学を嫌いと考えている児童生徒が依然として多い状況は昨年の調査と同じ結果となっている。算数・数学については、基礎・基本を確実に身につけさせ、それらを活用するよさをしっかり分からせ、「分かった」「できた」と児童生徒が実感できるようにしていくとともに、個人内評価を適切に進め自己有能感を高めていく必要がある。

また、教科によっては小学校から中学校に進むことによって、「好き」になったり、「嫌い」になったりしているものがあり、小中の連携を深めて指導法や教科の専門性についての共通理解を図って指導することが大切である。

「心豊かな人間」を育む上で、道徳について中学校段階に進むと「嫌い」になっていることは大きな課題といえることから、週1時間道徳の時間の確保はもちろんのこと、その指導の在り方について発達段階を生かして取り組む必要がある。

板書・ノートの指導技術 ①

～日々の板書について見直しましょう～

Q. 板書の速度はどうすればよいか。



A. 板書の速度を考える時には、次の点に応じて臨むようにします。

- ①読む力に応じて速度を変える。
 板書は、子どもの学習の理解を助け、思考活動を活発にすることがねらいです。そのため板書の速度は、その学級の読む力に応じて考えます。
- ②話を聞き取る力に応じて速度を変える。
 板書は言葉の文字化されたものです。子どもの話し方・聞き取る力を踏まえて板書の速度を考えます。
- ③考える力に応じて速度を変える。
 子どもの思考を広めたり、深めたり、確かなものにするためにも板書の速度は関連があります。
- ④書く力に応じて速度を変える。
 板書の速度を考えるときに、特に配慮を要するのは「書く力に応じる」ことです。

夏季休業中の専門研修



- 「教科教育研修講座」8月10日(水)
 経験者研修Ⅱの先生方が、小中学校の各教科に分かれて模擬授業を行います。授業と研究協議を通して、授業力の向上を図る実践的な研修です。
- 「少人数指導法講座」8月23日(火)
 前国立教育研究所の初等中等教育研究部長である「高浦勝義先生」を講師に招き、個に応じた指導等について講義をいただきます。大変貴重な講義ですので、みなさん奮って参加してください。

研修の感想紹介

コンピュータ基本操作講座 (5/18・19)

<演習>

○今回の研修では、今まで「知りたいな」「でも聞きにくいな」と思っていたことを分かりやすく説明していただき、本当に勉強になりました。

○今までは、保存するときに同じ場所に保存していましたが、フォルダの作り方やファイルの整理のしかたがわかったので、早速自分のパソコンのデータを整理したいと思います。



○デジカメで撮影したり印刷したりすることはできましたが、ワープロに貼り付けたり編集したりすることが簡単にできることがわかり感動しました。学級活動や生活科をはじめとして、多くの場面で活用しようと思います。

国際理解講座 (6/15)

<協議・演習>

○ALTを交えた協議だったので、ALTが望むこと学校が望むことを整理しながらまとめることができ、とても良かった。全職員に伝えたい。

○ALTと担任とのコミュニケーションが一番大切であると感じた。遠慮(お互い)しては、うまく授業が進まないし、何より子どもに良くないと思った。

<講義>

○小学校英語活動の現状を、豊富な資料をもとに説明して下さった。湯本一小的取り組みは、とても参考になり、自信を持って取り組んでいけそうです。

○簡単なチャッツなど実践的な内容を教えていただいたので、すぐ明日からでも使えそうです。

